

2014 年 1 月 22 日

持続型赤血球造血刺激因子製剤 「ダルベポエチンアルファ」バイオ後続品 ライセンス契約締結のお知らせ

株式会社三和化学研究所（本社／名古屋市、代表取締役社長／山本一雄、スズケングループ）は、韓国の東亜 S T 株式会社（本社／韓国ソウル市、代表理事社長／朴贊一）と、ダルベポエチンアルファのバイオ後続品について日本国内での開発・商業化に係るライセンス契約を締結しましたのでお知らせいたします。

また、当社は、同日付で株式会社ジーンテクノサイエンス（本社／札幌市、代表取締役社長／河南雅成、以下「ジーンテクノサイエンス社」という。）と共同開発契約を締結しましたので併せてお知らせいたします。

持続型赤血球造血刺激因子製剤であるダルベポエチンアルファは、腎性貧血治療薬で保存期慢性腎臓病から透析期までの腎性貧血の患者さんに対して、貧血の症状を改善する目的で、2007 年より日本国内で広く使用されております。

今回の契約締結により、当社は、本剤の国内での承認取得に向けて、ジーンテクノサイエンス社と共同で開発を行います。また製造販売承認申請及び販売については当社が単独で行います。

当社は、腎疾患領域を重要な戦略領域と位置付け、研究開発を進めております。今回のバイオ後続品の導入は、この領域での当社のパイプライン充実を図ると共に、今後、慢性腎不全の患者さんのために当社が一層貢献できるものと考えております。

<リリースに関するお問い合わせ先>

株式会社三和化学研究所 経営管理部 CSR 広報グループ TEL052-951-8130

以下 参考資料

東亜 ST 株式会社について

2013年3月1日に東亜製薬（1932年設立）は、東亜 SOCIO Holdings、東亜 ST、東亜製薬の三つの会社に分割されました。

分割後、東亜 SOCIO Holdings は BIO 医薬品及び革新的新薬開発を通じて成長ドライバーを確保し、東亜 ST は医療用医薬品事業、東亜製薬は一般医薬品事業を中心とした事業展開を行っています。それぞれが独立的な責任経営体制を取り、各事業部門の専門化を通じて核心事業への集中投資が容易となりました。

社名	東亜 ST 株式会社 (Dong-A ST Co., Ltd.)
代表者	代表理事 副会長 金源培(Mr.Wonbae Kim) 代表理事 社長 朴贊一(Mr.Chan-il Park)
住所	大韓民国ソウル特別市東大門區千戸大路 64 (64, Cheonho-daero, Dongdaemun-gu, Seoul, Korea)
設立	2013年3月1日
資本金	368億ウォン
社員数	1,562名
売上高	約 3,459億ウォン
事業内容	医療用医薬品、診断、医療機器

東亜 ST は、2013年3月1日に分割会社として設立しました。よって売上高の算定は2013年3月～9月末までの集計となります。